

鬼北町立広見中学校
道徳通信
道徳主任 酒井 智有
NO. 85
令和8年9月1日発行

よりよく生きる

2学期スタート！！

「考える・話し合う道徳」で実り多い2学期に

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。学校生活では、体育祭や文化祭、合唱コンクール、地域コミュニケーション科の学習活動、部活動（市郡新人総体）など、多くの行事での仲間との関わりを通して、大きく成長できる時期です。道徳の授業でも、一人一人が自分自身と向き合い、「よりよく生きるとはということか」を考える学習を進めていきます。

行事の中にも道徳があります！！

体育祭や文化祭では、勝敗や成功だけではなく、その過程でたくさんの学びがあります。

- 例えば……
- ・思うようにいかないとき、どんな行動を選ぶか
 - ・友達と意見が違ったとき、どう話し合うか
 - ・誰かが困っていたら、どのように声を掛けるか
 - ・最後まで責任を持って役割を果たせるか



これらは、まさに道徳で考えているテーマです。授業だけでなく、学校生活そのものが学びの場になるよう支援していきます。

2学期に大切にしたいこと

- 相手の立場に立って考える「思いやり」
- 互いの違いを認め合う「尊重」
- 約束やルールを守る「責任」
- 自分らしい生き方を考える「よりよく生きる力」



これらは学校生活だけでなく、将来、社会に出たときにも大切になる力です。

御家庭へのお願い

授業では、生徒たちが様々なテーマについて考えていきます。ぜひ御家庭でも、「今日の道徳ではどんなことを考えたの？」
「あなたならどうする？」

など、話題にしていただけると幸いです。家族との対話を通して、自分の考えを言葉にしたり、違う考え方に触れたりすることは、道徳の学びをさらに深める機会になります。

2学期も、生徒一人一人が安心して自分の考えを表現し、多様な価値観に触れながら成長できる授業を目指してまいります。保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。